

意見交換会・管内視察報告書（厚生委員会）

提出日： 令和5年8月5日

議員名	真田 光夫
日時	令和5年7月27日（木）
場所	兵庫県明石市
相手先	兵庫県明石市
成果・所感等	
<p>(1) 相手先の意見（聞き取り内容） 人口：305498人、面積：49.42 km²、予算：1256億1940億円</p> <p>子育て支援事業(0歳児の見守り訪問「おむつ定期便」) 事業目的：0歳児養育家庭に定期的に関わり、見守りを続けることで、育児に関する不安や悩み、心配などから誰ひとり取り残されることのないよう、早期の支援に繋げていくことを目的としている</p> <p>事業概要：</p> <ol style="list-style-type: none">① 3000円相当の赤ちゃん用品と子育て情報誌を生後4ヶ月から満1歳の誕生日まで毎月無料でお届けする。② 子育て経験のある配達員（見守り支援員）が、不安や悩み、心配なことなどないか声をかけ、赤ちゃんと保護者の見守りを行う。③ 相談内容に応じて、市の子育てサービスや子育て関連施設、関係部署を紹介し、保護者としての連携を行う。④ 生活協同組合コープこうべに委託している。プロポータル入札を行ったが、入札業者は1軒だった。 <p>出生者数：令和3年 2734人 対象者数：約2400人程度 お届けする商品：33品目から2商品（1点あたり1500円以下） 毎月2点を選べる 人気第1位：パンパース 35%、第2位：メリーズ 29%、第3位：ムーニーマン 16%、第4位：おしりふき</p> <p>見守り支援員：9名（専任） 火曜日～金曜日、午前9時～午後2時、 第2週～第4週（※土曜日にも配達可能） 配達件数：毎月約2200軒程度 1日訪問件数：20軒 1軒あたりの時間：15分程度 報告：日報はタブレット、翌月10日に全部の報告を行う 緊急対応：当日中に市に連絡をして関連部署や電話連絡などの対応を行う（年間に数件あるかないか）</p> <p>予算：年間1億2000万円 決算：令和4年度 9964万1千円 おむつ等支援給付：7556万4千円 見守り・子育てサポート情報提供業務：2400万7千円</p> <p>相談内容：</p> <ol style="list-style-type: none">第1位：発育・発達 61.8%、第2位：健康・身体 26.0%、第3位：基本的栄養習慣（食事睡眠） 23.3%、第4位：家庭・生活習慣 17.0%	

アンケート実績

Q：見守り支援員が、声がけしていますがどのように感じるか？

A：1位：話しやすい 75.9%、2位：普通 22.2%

Q：見守り支援員に子育ての悩みや困りごとを相談しているか？

A：1位：毎回している 13.9%、2位：時々相談している 40.2%

Q：おむつ定期便があつて良かったと思うことは何ですか？

A：1位：おむつ等が無料でもらえる 97.3%、2位：買いに行く手間が減ること 67.6%

事前質問

(1) 事業実施の動機、経緯、現状、課題、評価について

「あかし子育てモニター制度」アンケートにより下記の要望があつた

- ・こどもが0歳児の時が1番育児に不安や負担を感じた
 - ・その期間だけでも行政が定期的に継続して訪問してもらえると助かる
- また、滋賀県東近江市が（見守りおむつ宅配便）事業を行っていたのを参考にした
課題：配達員のスキルアップや保護者との対面率の向上

(2) 事業の予算規模と設定金額の月3000円相当の基準について

- ・予算額：1億2000万円程度
- ・アンケート結果：1ヶ月あたりの費用で3000円が最も多かつた

(3) 現在の担当保健師の人数と対象新生児の数について

- ・保健師はいない
- ・配達員は9名で市内全域を担当している
- ・対象児童数は、平均2200人前後

(4) 配達員や相談員の男女比率を伺う

- ・受け取りが女性であることが多いため、子育て経験のある女性限定
- ・配達員が相談員を兼ねており、専門的な内容の場合は市に繋いでいる

(5) 待つ福祉からアウトリーチ型福祉に移行した経緯と現状の課題について

- ・上記1の通りです

(6) HP「笑顔のタネあかし」を作った経緯について伺う

2010年頃の課題：人口減少で中核市の要件30万人を満たすことができない状況
明石市のコンセプトを泉市長が公約に掲げて当選した後

- ・こども支援「あれもこれも」
質についても「早く、近く、広く、高く、長く」を基本に推進
- ・所得制限を設けない（市独自）
- ・関西初の支援策を多面的に推進
- ・子ども支援に関する予算：8年間で2倍に増額、担当職員を3倍に増員
- ・予算捻出：職員の1割及び給与一律4%削減
下水道道路整備計画に基づく予算1/4圧縮

広報戦略（シティセールス）について

目標

- ・今明石に住んでいる人のたちに、将来にわたり住み続けてもらう
- ・将来の住まいとして、市外の方から明石市を選んでもらう
- ・全国の中で、明石市の認知度（ブランド力）を上げてまちを訪れてもらう

シティーセールス推進室

広報課：11名、天文科学館：15名、本の町推進課：6名

シティーセールス課：5名、あかし市民広場：7名

30万人がセールスパークソン

シティーセールス課のミッション

①移住定住人口の拡大

「子育てしやすいまち」のPR（冊子・配布・ホームページ、SNS、不動産業者との連携、たこ大使さかなクンイベント実施など

② 観光＝交流人口の拡大

観光協会との連携、周辺地域との広域連携など

③ ふるさと納税の黒字化

返礼品の拡充、魅力的な使い道の提案など

笑顔のタネあかし：年間約10万PV

- ・ターゲット層にあったデザインが必要

(7) 子育て関連も含めて明石市のシティプロモーションの取り組みについて伺う

- ・不動産事業者にチラシ配布及びデータもお渡しする

Q：市内の産婦人科の数

A：市内産婦人科：5箇所

民間：こどもMC対応の医療センターが2箇所ある

年間1000人程度、4日程度入院

その他

人事に関わる明石市独自の特徴

- ・職員1割・給与：削減
- ・基本は年に1回人事異動ですが、明石市の場合、年間20回程人事異動がある

(2) 意見交換で感じたこと等

まとめ・感想

子育て支援事業「おむつ定期便」は、0歳児養育家庭に対して、定期的に子育て支援と商品提供を行う取り組みです。月に無料で3000円相当の赤ちゃん用品と情報誌を届け、子育て経験のある見守り支援員が、不安や悩みがあるかと声をかけながら見守ります。相談内容に応じて市のサービスや施設を紹介し連携も行っています。アンケート結果では、支援員とのコミュニケーションが好評で、おむつ定期便の利点も高く評価されています。

この取り組みは、市内の子育て支援の一環として、誕生者数に合わせた対象者数に提供されており、年間予算は1億2000万円程度です。見守り支援員は女性のみ9名で活動し、市の中核市としての要件を満たすために様々な取り組みが行われています。

所感として、この子育て支援事業は非常に意義深い取り組みであり、市民の健康な成長と生活の向上に貢献していると感じます。予算規模もふさわしいものであり、アンケート結果からも市民の満足度が高いことが分かります。見守り支援員や広報戦略の強化により、さらなる効果的な支援が期待できるでしょう。

但し、府中市で導入をするとすると予算や人的配置等が必要となるため、十分な議論が必要だと思うが、「子どもファースト」で見守れることがあれば、出来そうなことを提言すれば良いと思う。

明石市のこども支援は、「あれもこれも」。質についても「早く、近く、広く、高く、長く」を基本に推進することは、見習うべきであるし、広報チームのシティーセールス推進室のリーダーシップとともに、明石市民30万人がセールスパersonであると言い切れることが、成功の鍵だと感じました。